

入会の申し込み

入会資格

- ① 正会員 ▶ 本会の目的に賛同される大学・短期大学職員・教員・大学関係団体の職員
- ② 賛助会員 ▶ 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助しようとする個人または団体
- ③ エルダー会員 ▶ 継続在籍期間が3年を超える正会員で、定年退職後、本会の目的に賛同する者
- ④ 大学院学生会員 ▶ 大学行政管理学を学ぶフルタイムの大学院生
(ただし、①、②に該当する者を除く)

年会費（4月～3月）

- ① 正会員 ▶ ……10,000円
- ② 賛助会員 ▶ 個人：20,000円（一口）以上
団体：50,000円（一口）以上（3名まで登録可）
- ③ エルダー会員 ▶ ……5,000円
- ④ 大学院学生会員 ▶ ……5,000円

正会員1名の推薦者を明記のうえ、学会ホームページの入会申し込みフォームよりお申し込みください。

なお、身近に推薦者が見当たらない場合は、事務局にて対応いたします。メールまたは電話でご相談ください。

※大学行政管理学会事務局へのご案内

J R、地下鉄（有楽町線、南北線、新宿線）：「市ヶ谷駅」下車徒歩5分

J R：市ヶ谷駅を出て、靖国通りを直進

地下鉄：A3の地上出口から、右方向へ



Japan Association of University Administrative Management

日本の大学を支える全ての方々へ

 大学行政管理学会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-6-1 九段シルバーパレス203

TEL/FAX 03(3511)7033

E-mail:office@juam.jp

URL:http://juam.jp/

大学行政管理学会とは

大学行政管理学会は、プロフェッショナルとしての大学行政管理職員の確立を目指し、「大学行政・管理」の多様な領域を理論的かつ実践的に研究することを通して、全国の大学の横断的な「職員」相互の啓発と研鑽を深めるための専門組織として、1997年1月に大学・短期大学の管理職を対象に発足しました。

現在は、日本の大学を支えるすべての方々にも門戸を広げ、教員、職員および大学院生などが意欲的に活動しており、それぞれが自律的かつ高度な専門職業として機能する大学アドミニストレーターとして、わが国の高等教育機関において果たす役割を追求しています。

2支部8地区および13のテーマ別研究会を中心とした研究会活動のほか、学会誌・事務局便りなどを刊行・配信し会員への情報提供を行っています。また、孫福賞および若手研究奨励金制度、自費出版奨励制度を設立し主体的な活動を奨励しています。さらに、英国大学行政職員協会(AUA)、韓国大学行政管理者協議会(KAUA)および大学マネジメント研究会と連携・協力関係を結ぶなど、研究団体の側面と職能団体の側面という二面を統一的に追求する多彩な活動を展開しています。

少子・高齢化、グローバル化が進展する社会経済の中、教育立国を目指す我が国において、今後、ますます大学教育の質の向上・保証、社会が求める主体的に問題解決を図る人材の輩出等、大学改革への期待が一層高まっております。

これに答えるために経営改革はもとより、教育・学修支援、研究支援、地域・連携、国際交流等、多彩な機能・領域において専門性、自主性、独創性を有する大学運営に必要な実践を行うことができる人材の育成が強く要請されます。本学会はこれらの活動を通じて、本学の目的である「大学の行政管理について実践的、理論的に研究し、大学行政管理にたずさわる人材の育成をととして、大学の発展に寄与すること」、さらには高等教育の発展に寄与することに邁進しています。

学会のあゆみ

1997年1月 発足
1997年1月 設立記念講演（於：慶應義塾大学）

定期総会・研究集会

- 第1回 1997年度開催（9月6・7日 於：法政大学）
- 第2回 1998年度開催（9月5・6日 於：龍谷大学）
- 第3回 1999年度開催（9月4・5日 於：明治大学）
- 第4回 2000年度開催（9月2・3日 於：早稲田大学）
- 第5回 2001年度開催（9月1・2日 於：名城大学）
- 第6回 2002年度開催（9月7・8日 於：神奈川大学）
- 第7回 2003年度開催（9月6・7日 於：広島修道大学）

会長メッセージ

理論と実践で 大学を牽引する人財を育てる

大学行政管理学会会長
西川幸穂（立命館大学）



大学はそれぞれの理念にもとづき、知が育まれ、人が育ち、豊かな人格を形成する場です。そこには実務を通じて、学生、教育、研究のため、大学行政管理に日夜貢献する多くの職員が、教員とともに奮闘しています。

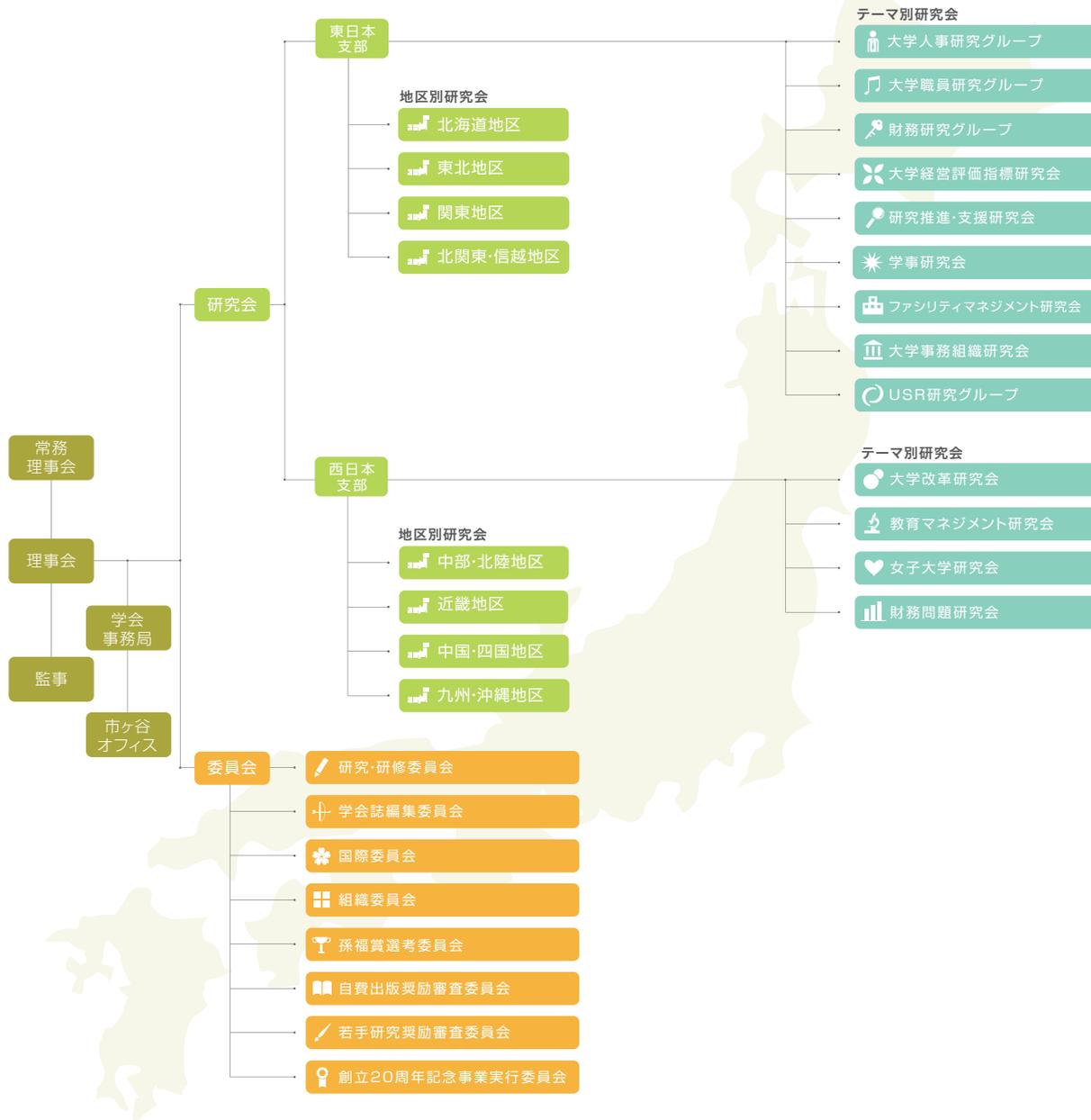
大学をとりまく環境は厳しさが増す一方、未来の社会を豊かにする原動力として大学には大きな期待があります。学生が育つためには、職員も育てねばなりません。この期待に応えていくためには、厳しさを乗り越えて創造的かつ実践的に大学、職場、職員の未来像を見据えて、それに向かう人財を育てることが大切です。

大学行政管理学会は、1997年、プロフェッショナルとしての大学行政管理職員の確立を目指して創設され、2016年には20周年という節目を迎えます。今日求められる日本型の大学アドミニストレーター像の確立を目指すなかで、新たな大学の姿を模索しつつ、多様な領域で理論的かつ実践的な研究を、全国各地の研究会・研究グループで展開しています。

担当業務、大学、地域の枠を超えてともに学び、交流し研鑽しあいながら、一人ひとりの成長と大学の発展に寄与する、これが大学行政管理学会の原点です。こうした取り組みを通じてそれぞれの大学を牽引する職員を当学会から輩出してきたと自負しております。年齢、性別、経験年数や担当業務を超えて切磋琢磨し、吸収し合うダイナミズムがこの学会にはあります。多くの皆様のご加入と当学会での研究・研鑽へのご参加をお待ちいたしております。

- 第8回 2004年度開催（9月4・5日 於：東洋大学）
- 第9回 2005年度開催（9月3・4日 於：札幌大学）
- 第10回 2006年度開催（9月1～3日 於：青山学院大学）
- 第11回 2007年度開催（9月8・9日 於：福岡大学）
- 第12回 2008年度開催（9月6・7日 於：日本大学）
- 第13回 2009年度開催（9月5・6日 於：立命館大学）
- 第14回 2010年度開催（9月4・5日 於：國學院大学）
- 第15回 2011年度開催（9月3・4日 於：金城大学）
- 第16回 2012年度開催（9月8・9日 於：芝浦工業大学）
- 第17回 2013年度開催（9月7・8日 於：東京電機大学）
- 第18回 2014年度開催（9月6・7日 於：東北学院大学）
- 第19回 2015年度開催（9月5・6日 於：関西大学）

組織図



地区別研究会、テーマ別研究会・グループへのお誘い

地区別研究会

東日本支部

北海道地区研究会

北海道地区における大学職員のSD活動を目的として活動しています。地区研究会を年3回のほか、中堅・若手勉強会、若手職員研修会を開催しています。SDに関するテーマをブレイクダウンし、参加者が問題意識や問題解決の方向などを共有できるよう取り組んでいます。資格制限はありません。地方の大学を元気づけるためにご参加ください。

東北地区研究会

東北地区の大学に勤務する会員による研究発表や各大学の事例報告を行いながら、大学職員相互の“学びと励まし”のネットワークとして、会員相互に研鑽と交流を深める機会としています。原則年2回の研究会と年5回の中堅・若手勉強会を中心に、主として東北学院大学土樋キャンパスで開催しております。東北地区の会員を前提としていますが、どなたでも歓迎いたします。

関東地区研究会

関東地区研究会では研究活動テーマを限定せず、幅広く学会員に提供できるように研究テーマで年3～5回（不定期）、東京都内の大学会議室等を中心に使用して開催しております。

講演会、ワークショップの形式で開催し、交流や情報交換の場を広げることを目的としています。参加資格、条件は特にありません。非会員の方も是非ご参加ください。

北関東・信越地区研究会

学生募集や就職支援、教学マネジメントなどをテーマに、年に1回から2回程度、勉強会・研修会を開催しています。この地区は小規模な大学がほとんどなので、いかにして個性を発揮するか、また、大学職員の相互啓発と実務家としての研鑽に関して、取り組んでいきます。

研修会等へはどなたでも参加できます。皆さまのお越しをお待ちしております。

西日本支部

中部・北陸地区研究会

本研究会では、大学の教育・研究、管理・運営など大学を取り巻く様々な課題に関し、問題意識を持ち取り組んでいます。また、若手職員の企画による新入職員を対象とした研究会や大学コンソーシアム石川との共催によるSDフォーラムなど特色ある研究会を開催しております。全国から多くの皆様の積極的な参加をお待ちしております。

近畿地区研究会

近畿地区研究会では、西日本支部のテーマ別研究会等と連携しながら、適宜のテーマにより、年6回程度の研究会を開催します。

昨今は高等教育を取り巻く環境変化が著しく、大学教育の質的向上を図る上で考えなければならないテーマがたくさんあります。大学の戦略的経営、高等教育政策、SD、大学のガバナンス、国際化などについて、主にワークショップ形式で開催しています。

中国・四国地区研究会

本研究会では、年間3～4回程度の研究会を開催しています。大学教職員なら誰もが関心をもつテーマをはじめ、若手・中堅職員対象のテーマなどを取り上げ、多彩な研究会を開催しています。中国・四国地区の学会員はもとより、他地区の学会員、さらにこれから学会への入会を考えている方々も多数、参加しています。また、地域のコンソーシアム団体等とも協力し、大学教職員の資質向上に取り組んでいます。

九州・沖縄地区研究会

本地区研究会は「大学行政・管理」全般にわたり会員相互の啓発と研鑽を深めるため、年4回の研究会を実施しています。外部講師による講演や会員発表のほか、ワークショップ、研究会後の情報交換会等での相互研鑽とネットワークづくりにより、所属大学のみならず広く地域の大学発展に貢献したいと考えています。地区以外、会員以外の参加も大歓迎です。

テーマ別研究会

東日本支部

大学人事研究グループ

経営・行政管理者としての大学職員の育成と人事・給与制度のあり方について、事例研究や講演等をおとして探求することを活動目的としています。原則、毎月第3土曜日に都内の会員校において研究会を開催しています。これまで、研究成果である『大学人事研究』を発刊するなどの活動も行っています。

大学職員研究グループ

職員の実践力を持った専門職としてのあり方を研究し、同時に会員自身の自己研鑽を支援することを目的に1999年1月発足しました。研究成果として、「大学職員—その属性」（2001年）、職員に関する各種調査報告（学会誌7・9・10号）、SDプログラムの事例検討（2008年から現在）があります。参加者は、国立15%・公立11%・私立74%、男性74%・女性26%となっています。

財務研究グループ

学校法人の会計制度、財務構造、財務戦略を主要テーマに、具体的・実務的・理論的研究を進めています。毎月第3木曜日に開催しています。2006年9月には『大学財務研究』、2011年3月には「これならわかる！学校会計」、また、学校法人会計基準の改正に伴い2014年5月には『平成25年4月改正学校法人会計基準対応版 これならわかる！学校会計』を発刊し、好評を得ております。現在は、「中長期財政計画」に関する研究に取り組んでおります。

大学経営評価指標研究会

大学経営の実践的管理手法の創出と普及を目指しています。研究・開発した<大学経営評価指標>は多くの大学に導入されており、また、<大学経営時代の職員養成>についての研修も実施しています。現在「大学ガバナンス評価」の研究中です。参加資格は問いません。毎回の大学実務に関する最新情報の交換も有意義です。原則隔月土曜日の午後開催です。

研究推進・支援研究会

研究推進・支援に携わる職員の専門性と役割、戦略的対応について研究・議論することで、業務に関する見識を深め、個人の資質の向上を目指します。原則として繁忙期を除く1回土曜日午後、首都圏で開催しています。関係者の講演会等を開催する一方、外部研究資金の獲得及び執行支援担当者や知財関係業務担当者によるワークショップなどで、個々が抱えている研究の基盤整備が

ら成果活用に至る幅広く多様な今日の問題の解決に取り組んでいます。時事のテーマなど迅速に取り上げていきますので、どなたでもご参加ください。

✳️ 学事研究会

「大学行政の中心に学生をおき、コアとなる学生に関連するアドミニストレーター機能の発展に資する」ことを目的とした研究会です。大学における学事、学事におけるアドミニストレーターの機能・役割について、幅広く追究しています。研究会は年4～6回程度の頻度で、主として首都圏の大学で開催しています。参加資格は特に問いません。

🏠 ファシリティマネジメント研究会

キャンパス、施設、設備等における「ファシリティマネジメント」の考え方について研究活動を行っています。2010年9月には『キャンパス再生のすずめーこれだけは知っておきたいキャンパスFM』を出版しました。事例研究としての大学施設見学会の開催なども、不定期ですが行っています。どなたでも参加可能です。

🏢 大学事務組織研究会

本研究会は「私立大学における事務組織の実態調査」、「各大学の事務組織事例研究」、「大学事務組織の歴史の変遷」など、各自のテーマに基づいた研究活動を行っています。研究会は年に4回程度開催し、他の研究会との合同研究会を率先して開催することが特徴です。また、2015年には研究成果である『大学事務組織研究（第4号）』を発刊しました。

🔄 USR研究グループ

大学の社会的責任とは何かを問い続け、解決すべき社会的課題について議論し、大学が自らの力で持続可能な社会を創造していくことをめざします。月1回、平日の夜間に都内の大学で活動しています。若老男女問わず、将来を担う大学人に参加を呼びかけるとともに、民間企業、官公庁からの参加も歓迎しています。

西日本支部

🏠 大学改革研究会

「大学職員間の相互支援-支え合いから生まれる次世代の大学運営-」をコンセプトに活動しています。大学職員一人ひとりの専門性の強化が求められている昨今、若手・中堅層の大学職員が自律した大学アドミニストレーターとして成長する機会を提供すべく、2～3カ月に1回程度の頻度でワークショップを開催しています。どなたでも参加可能です。

📖 教育マネジメント研究会

本研究会は学生の主体的な学びを促進するための実践の中で、教育とマネジメントを関連づけた理論と実践を行き来する研究から、現場の課題に迫ることを目指しています。参加者には、実践事例研究を通じて研究諸活動に対する主体的および互恵的参加をお願いします。年2～3回程度の頻度で土曜または日曜午後に開催しています。

💖 女子大学研究会

近年、女子大学の共学化が進んでいます。本研究会は、女子大学を取り巻く環境変化を多方面から分析し、女子大学（教育）の現代的意義や優位性を探求しながら、女子大学全体の活性化と連携強化を目指します。年3回程度、関西を中心に各地区で開催。女性の高等教育史、現在の教育内容、経営・改革、海外の女子大学（教育）などのテーマを設定して研究します。

📊 財務問題研究会

研究テーマは財政施策、財務分析、私学助成、学校法人会計基準、予算制度、学費体系、財務システム、法令遵守、内部統制等。研究会は年4回程度、原則として土曜日の午後に開催します。

委員会活動

🔍 研究・研修委員会

- ① 定期総会・研究集会の企画・運営
- ② 地区別・テーマ別研究会の運営支援
- ③ 若手研究奨励金の公募
- ④ 推薦図書等の選定に関すること
- ⑤ その他、研究・研修に関すること

📄 学会誌編集委員会

- ① 一般投稿の募集、査読および修正依頼ならびに原稿種別の決定
- ② 巻頭言、総会講演、孫福賞、若手研究奨励、海外派遣、会務報告、会員名簿等に係る各種原稿の依頼・受付
- ③ 著者校正、原稿配列、レイアウト、印刷、製本、発送等に必要な業務の委託、ならびに最終校正および連絡調整
- ④ 学会誌規程、執筆要領、査読等のルール整備

🌸 国際委員会

- ① 海外の大学行政管理の専門家組織との連携の促進
- ② 海外における大学行政管理の現状と課題についての情報収集
- ③ 英国 AUA (Association of University Administrators) 総会への会員派遣
- ④ KAIE (Korean Association of International Educators) との交流
- ⑤ 韓国大学行政管理者協議会 (KAUA) との会員の相互派遣

🏠 組織委員会

- ① 自己点検・評価への取り組み
- ② 各地区など支部設置と運営ルールの明確化
- ③ 各委員会の役割分担と運営ルールの明確化
- ④ 学会の法人格取得に向けた取り組み

🏆 孫福賞選考委員会

- ① 孫福賞授与者の選考

📖 自費出版奨励審査委員会

- ① 自費出版奨励金の交付者審査

🔍 若手研究奨励審査委員会

- ① 若手研究奨励金の審査

📍 創立20周年記念事業実行委員会

- ① 記念事業の企画・実施

表彰・奨励

▶ 孫福賞

本会初代会長 故・孫福 弘の功績を顕彰し、会員の特に優れた研究・実践業績を表彰するために2006年より設けられています。

▶ 自費出版奨励金

大学行政管理の分野に関する論理的研究又は実践的経験をもとにした「自費出版」を行おうとする正会員を助成します。

▶ 若手研究奨励金

若手の会員（39歳以下の個人またはグループ）の研究活動を奨励し、学会の研究活動の活性化と研究水準の向上を図ることを目的として2006年より設けられています。

会員への定期的なお知らせ

- ・各研究会開催のお知らせをメールで配信します。
- ・『事務局便り』（年4回予定）をPDFにて配信します。
- ・『学会誌』（年1回発行）を送付します。

入会後の活躍の場

▶ 研究会・委員会への参加

参加ご希望の方は、ホームページのお問い合わせフォームより事務局までご連絡ください。

▶ 定期総会・研究集会への参加、研究発表

例年9月上旬の土・日曜に開催。基調講演、ワークショップ、研究発表等を行っています。

▶ 学会誌への投稿

事例報告から学術的論文に至るまで、幅広く論稿を募集、査読を経て掲載されます。

会員専用ページのご紹介

▶ 研究データベース

地区別研究会、テーマ別研究会及び定期総会・研究集会の発表資料を収録。キーワード検索及びダウンロードが可能です。

▶ 高等教育関連図書紹介コーナー

会員研究活動の支援充実のため、会員専用ページ内で閲覧ができます。

会員の声



「仲間をもつことで」

高崎経済大学 青木 加奈子

学会設立に尽力され、また初期から活動を支えてこられた大先輩方を身近に仰ぎ、薫陶を受けながら職員生活を送ってきたにもかかわらず、長く入会に至らず過ぎていました。しかし、経験年数を重ね「ベテラン」と呼ばれる世代となって、自分では努力しているつもりでも、独りよがりになっているのではないかと感じ始めていました。

「学び」の場で働く者として、自らも学びつづけたいと思ってきましたが、設置形態や世代の違いをこえて多様なメンバーが集まる研究会や委員会が活動することで、あらたな刺激を得、自分の見方や考え方を客観的にとらえることができるばかりでなく、問題意識を共有する「仲間」と共にする時間は、目の前の課題に取り組みとうとする意欲に加えて気持ちの安らぎをも与えてくれます。

「熱い想いを持ち帰り」

仁愛女子短期大学 松原 広幸

「この業界で飯を食べて行くのだだったら」と、当時の上司から薦められたのが学会での学びの始まりでした。異業種から転職し、地方の小規模校にあって井の中の蛙になりそうだった私にとって、学会への参加は視野と人的繋がりを全国に広げてくれる大きな助けとなりました。各校の進んだ取り組みの数々や、私と同世代の若手の方が積極果敢に日々の実践を発表する様を見るに、その高度な内容に触発され、自校での実践の可能性を思い描いたり、発表者の熱を帯びた想いを持ち帰り、自校にも広めたいという気持ちに駆られます。

職員数が限られる中で、ゼネラリストとしての役目を日々感じており、多岐にわたる分野について、毎回新たな知見を与えて頂けるこの学会は、今後「この業界」で生きていくため一層の学びが必要であることを強く感じさせてくれる大切な場となっています。

「自ら求めれば、何かが変わる!」

学校法人西南学院 宮本 直樹

大学に職員として勤務して約30年になりますが、JUAMとの関わりは長くなく、現在の職場に移ってから初めて地区研究会に参加しました。非会員として参加したその時は、研究会の内容も詳しく確認せずに参加し、ワークショップでもほとんど発言できずに、とても恥ずかしい思いをした事を、今でも鮮明に覚えています。自身の腑甲斐なさ、恥ずかしさを感じると同時に、会員の方々の意識の高さを感じ、生来人見知りで研究会に参加することや会員になること自体あまり得意ではなかったのですが、勇気を振り絞って入会しました。

JUAMには、地区研究会だけでなくテーマ別にも多くの研究会があり、参加しようと思えばどの研究会にも参加が可能で、自己研鑽を積むことができます。また会員の方々との情報交換を含めた交流を通して、知識だけでなく色々な面で、大学職員として成長できる所です。

しかし、貴重な情報や人脈も、自分から求めていかなければ得ることはできません。「門を叩いてみる」ほんの小さな一歩を踏み出す勇気を持つ事の大切さを、入会して時間が経った今改めて感じています。